

- 1 審議会名 上田市消防委員会(平成24年度 第3回会議)
- 2 日 時 平成25年1月28日 午後1時30分から午後3時15分まで
- 3 会 場 消防本部庁舎 3階大会議室
- 4 出席者 宮島会長、北澤委員、茂田委員、清水委員、高木委員、滝澤克彦委員、
武井委員、中村委員、牧内委員、矢島委員
- 5 市側出席者 荻原消防部長、岩倉消防総務課長、小林中央消防課長、長谷川消防予防課長
松井消防警防課長、後藤南部消防課長、小林東北消防課長、深井川西消防課長
小林丸子消防課長、佐藤真田消防課長、依田武石地域振興課長補佐、
竹内危機管理防災課担当係長、徳永危機管理防災課主任、
丸山総務担当係長
(その他の出席者)上田市消防団 和田団長、矢島副団長、福澤副団長
- 6 公開・非公開等の別 公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
- 7 傍聴者 1人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成25年2月8日

協 議 事 項 等

- 1 開 会(荻原消防部長)
- 2 あいさつ(宮島会長)
- 3 協議事項
【議題の概要】(進行:宮島会長)
(1) 答申書(案)について
「答申通知(案)」及び「答申書(案)」の読み上げ(丸山総務担当係長)
- 【審議概要】
(1) ア 「答申通知(案)」について
(委員の質問)
・ 団員定数の見直しにあたり、団本部の思いを聞かせていただきたい。
(団本部の回答)
・ 今回の団員定数の見直しについては、現状、欠員状態が続いている中で、きちんとやらなければいけないという思いをずっと持っており、定数を見直すにあたっては、それぞれの分団で、地域の皆様との協議を経て団本部にあげてもらったものであり、この数字については、ほんとうに地域の実情に合ったものだとの確信しているところである。
(委員の意見)
・ 団本部、分団の皆さんが、現状の上田市の実情に鑑みながら、合併以降の懸案事項となっていた団員定数について、この定数がベストだと考えるのであれば、了解させていただく。
(委員の意見)
・ 「団員確保の困難な状況」については、諮問の中でも記載されている。答申書に同様のことを記載する必要はないのではないか。
(事務局の回答)
・ 答申の通知文は、答申にあたっての全体的な背景、経緯を記載したものであるが、分かりやすくするため、文章構成を変更したい。

【審議結果】

(会 長)

- ・ それでは、「答申通知」については、修正箇所を事務局で訂正し、この案でいくこととしてよろしいですか。

(委 員) 全員了承

【審議概要】

(1) イ 「答申書(案)」について

団員定数の見直しについて

(委員の意見)

- ・ 団員定数は、消防団で一生懸命に検討していただき、特に各分団が大変多くの地域の皆さんと話し合われた結果の積み上げが、2,270人ということなので、一切問題ないと思う。
- ・ 団員定数の資料については、地元自治会等との協議結果に基づく各分団定数の積み上げ数を資料とすればよいのではないかと。

【審議結果】

(会 長)

- ・ それでは、答申内容である、「団員定数の見直しについて」は、資料を事務局で訂正し、この案でいくこととしてよろしいですか。

(委 員)

- ・ 全員了承

【審議概要】

団車両配備について

(委員の質問)

- ・ バイクについて、調整中であり答申から除いたということであるが、バイクの必要性が認められないということか。

(事務局の回答)

- ・ 情報収集という観点からも、必要性は十分に理解している。必要性がないということではなくて、前回の会議で委員からも意見があったように、バイクについては危険性が伴う車両であり、そういった危険性や、現在配備されている10台で対応出来るのではないかとということで、現在消防団と調整しているところである。

(委員の意見)

- ・ 前回の会議の中でもあったが、浦里小学校の消火活動で、武石地域の照明車が非常に重宝したという話があった。よかったなら、団本部に1台配備するとか、あるいは各地域に整備していくことも今後検討が必要であると思う。

(事務局)

- ・ バイク及び照明車については特殊車両であることから、今回の団車両の見直しとはテーブルを別にして検討していくこととし、今回の答申からは、はずすこととしたい。

【審議結果】

(会 長)

- ・ それでは、答申内容である、「団車両配備の見直しについて」は、この案でよろしいですか。

(委 員)

- ・ 全員了承

【審議概要】

附帯意見について

（委員の意見）

- ・ 基本的に大きな部分では良いが、もう少し踏み込み次のようなことも検討したらどうか。
 - 消防団協力事業所への県の減税措置と同様な、市独自の減税措置の検討
 - 団員家族の慰労会の開催
 - 団員定数の減員に伴う予算の減額は、消防団員の処遇改善等に使うこと。
 - 新規採用市職員の入団促進
 - 各地域が主体となり消防団について協議する統一組織の形成

（事務局）

- ・ 附帯意見については、第1回目、第2回目の会議の中で、委員の皆様方から出た意見をまとめさせていただいたものであり、ただ今の御意見、御要望につきましては、附帯意見の中で、ある程度包括できるのではないかとと思われるが、今後、検討してまいります。

（委員の意見）

- ・ 各部所または、答申時も含め、こういう意見があったということを、口頭でも結構ですのと言っていただきたい。

（事務局）

- ・ 御意見があったことを、伝えてまいります。

（委員の質問）

- ・ 消防団経験者の協力を得て、自主防災組織を充実強化することについて、危機管理防災課としての具体的方策について伺いたい。
- ・ 自主防災組織という言葉だけが先行していて、それぞれの自治会の中で、自主防災組織といった形と名前はあるが、実際に機能できていない。自治会連合会にお願いするのだけれど、具体的なことはどうするのか。消防団経験者とどういう結びつきで、どういうことをやっていくのか。あるいは現役の団員とどういうふうに絡まっていくか。そういったことが見えてこない、自主防災組織の充実強化に向けての現実的な前進ができないと考える。

（危機管理防災課の回答）

- ・ 消防団を経験された方々は、防災に対する知識や技術を持ち、地域の危険箇所もよく御存知であり、地域防災力の資源である。そういう方々を自主防災組織の中に取り込んでいただくことで、地元消防団との連携を強化し、防災訓練等をリードしていってもらえるようにしたい。
- ・ 240全ての自治会に自主防災組織は有るが、防災訓練を実施しているのは全自主防災組織の30%程度という状況である。自主防災組織のリーダーである自治会長さんが1年で交代してしまうケースが多いが、消防団経験者に協力していただくことで、継続的に地域防災力を高めていくしくみを作っていきたいと考えている。
- ・ これらについては、来年度に向けて、さまざまな検討をしていかなければいけないと考えている。

（委員の意見）

- ・ 私どもの自治会では、毎年1年に1回は、自主防災組織と消防団が一緒になって、その年によって避難訓練、通報訓練等をしており、炊き出しの訓練までやっている。そのように地域の防災訓練を実際にやっている自治会も中にはある。
- ・ 自主防災組織の訓練で1回くらい説明を受けても、実際には役にたたない。例えば放水訓練では重い消火栓の蓋を開けるだけでも大変であり、ホースをつなげることも実際にはできない。組織の見直しや、「故郷は自分たちで守る」ということは、非常に大切なことだが、いざという時に動けるように訓練を考えていただきたい。

（危機管理防災課）

- ・ 自主防災組織の訓練については、炊き出し訓練や通報訓練等、地域の実情に合わせ、自主防災組織というものを意識した訓練をやっていただけるよう、研修会や出前講座等の機会を捉えて働きかけてまいりたい。

- ・ 市の防災訓練についても、総合防災訓練方式の参加型の訓練ではなく、自主防災組織の姿が見えるよう、実践型の訓練をしたほうが良いのではないかと考えている。

【審議結果】

(会 長)

- ・ それでは、「附帯意見」については、この案でいくこととして、よろしいですか。

(委 員)

- ・ 全員了承

【審議概要】

全体を通して

(委員の質問・意見)

- ・ 答申書については、会長にまとめてもらって、答申ということで良いと思うが、今後のフォローは誰がやるのか。消防委員会がやるのか。それとも消防部が主体となってやるのか。是非、市から附帯意見についての意見をもらってほしい。市からの報告がなされないと、条例にある「消防団の服務、待遇及び消防施設の改善強化に関する事項」これが全うされない。フォローアップを次回の消防委員会に是非お願いしたい。

(事務局の回答)

- ・ 委員会からの答申につきましては、市内部において内容等十分に審議させていただき、結論を出してまいります。皆様方の1年間の御審議に報いるためにも、私どもとしても、きちんとした対応をしてまいるとともに、その結果につきましては、次回の委員会において報告いたします。

【採 決】

(会 長)

- ・ ただいま、慎重に御審議いただき、答申書全体につき、委員の皆様方のご了承をいただきました。修正箇所については、事務局に訂正させることとし、御審議いただいた内容で、市長からの諮問に対する消防委員会の答申と決定させていただきますが、よろしいですか。

(委 員)

- ・ 全員賛同

(2) その他

(事務局)

- ・ 御審議いただきました答申書の修正箇所については、会長の指示に基づき手直しを行い、後日委員の皆様方に郵送いたします。
- ・ 今後のスケジュールについては、1月31日(木)午後1時00分、市長室において、正副会長から市長へ答申を行う予定です。

(会 長)

- ・ 今回の答申にあたっては、委員の皆様にご慎重な御審議をいただき、大変ありがとうございました。御礼申し上げます。

4 その他

5 閉 会(荻原消防部長)